

科目番号	25-6372	科目群	基本・実務基礎・基礎法学・ 展開先端 ・演習				
授業名	知的財産法						
担当教員	城山 康文						
種別	必修・ 選必 ・選択	単位数	4	年次	1・2・ 3	学期	S ・A・通
<p>授業の目的・ねらい・進め方 特許法及び著作権法を中心とした知的財産法制について、重要論点・判例や最新のトピックについて、実務感覚を踏まえたうえで、広く学習する。また、判例等を起点とした応用問題について、口頭でのディスカッションを行えるようにする。</p>							
授業の構成							
第1回 導入／特許法1：知的財産法の全体の枠組み、特許・実用新案法／著作権法の概要、発明・考案							
第2回 特許法2：特許要件①							
第3回 特許法3：特許要件②							
第4回 特許法4：発明者、発明者の権利							
第5回 特許法5：職務発明							
第6回 特許法6：出願・審査，審判・判定①							
第7回 特許法7：出願・審査，審判・判定②							
第8回 特許法8：審決取消訴訟							
第9回 特許法9：特許権の存続期間、共有							
第10回 特許法10：特許権の効力、クレーム解釈							
第11回 特許法11：均等論							
第12回 特許法12：複数当事者の関与、							
第13回 特許法13：先使用の抗弁、特許無効の抗弁							

第14回 特許法14：技術標準とFRAND抗弁、侵害に対する救済

第15回 特許法15：訴訟手続に関する特則

第16回 特許法16：特許権の取引・利用、製品売買取引における売主の第三者知財非侵害保証

第17回 著作権法1：所有権と著作権、著作物①

第18回 著作権法2：著作物②

第19回 著作権法3：著作権（支分権）の内容①

第20回 著作権法4：著作権（支分権）の内容②

第21回 著作権法5：著作権の制限規定①

第22回 著作権法6：著作権の制限規定②

第23回 著作権法7：著作者、著作者人格権

第24回 著作権法8：保護期間、著作隣接権

第25回 著作権法9：権利侵害の救済

第26回 著作権法10：著作権の取引・利用、刑事罰

授業の方法	<input type="checkbox"/> ①双方向的授業を中心に行う <input type="checkbox"/> ②その他（ ）
教材等	
成績評価の方法	筆記試験を <input type="checkbox"/> 行う・行わない <input type="checkbox"/> 1. A方式（2時間） <input type="checkbox"/> 2. B方式（3時間） <input type="checkbox"/> 3. C方式（その他の方法） 次の方法による（ ）
	平常点を <input type="checkbox"/> 考慮する・ <input type="checkbox"/> 考慮しない
	レポートを <input type="checkbox"/> 課す・ <input type="checkbox"/> 課さない
	成績を <input type="checkbox"/> A+・ <input type="checkbox"/> A・ <input type="checkbox"/> B・ <input type="checkbox"/> C+・ <input type="checkbox"/> C-（2011年度以前の入学者はC）・ <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> 合格・ <input type="checkbox"/> 不合格 で評価する
開講年度（予定）	<input type="checkbox"/> 1. 毎年開講 <input type="checkbox"/> 2. 隔年開講 <input type="checkbox"/> 3. その他（ ）